富山県データ・パレット2024～富山県官民データ活用推進基本計画～（案）に対する意見の概要及び県の考え方

第２章　現状と課題

２　情報通信基盤整備の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 意 見 の 概 要 | 県 の 考 え 方 |
| １ | FTTH利用世帯カバー率については、新たなデータが公表されているので直したらどうか。 | ご指摘いただいたP.6のデータを修正するとともに、計画案全体のデータを見直しました。 |

３　ICTの普及とデジタルトランスフォーメーション(DX)の進行

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 意 見 の 概 要 | 県 の 考 え 方 |
| １ | PHR（Personal Health Record）は一度情報漏洩すると取り返しのつかないものである。  トライアルな事柄では使用せずに、慎重に扱ってもらいたい。  仮に「限定公開」する場合は、セキュリティに気を使ってもらいたい。またデータ業界団体のアドバイスを得ながら取り組むのが良いと思う。 | ご指摘のとおり、PHRについては、慎重な取扱いが求められているところです。  「限定公開」の実施も含めたPHRの利活用にあたっては、高い信頼性とセキュリティを確保しつつ、プライバシーの保護とデータ利活用の効果も含め、外部のご意見等も伺いながら、様々な観点から検討を行いたいと考えております。 |

計画全体

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 意 見 の 概 要 | 県 の 考 え 方 |
| １ | IoTやAIで先進的な取り組みを行う事はとても良いと思う。  しかし新技術を重視するあまり、地元以外の企業が主体的に事業を進めると、導入時は「機器販売」や「サービス導入」で面倒見が良いが、その後の一番大事な「住民に浸透させる」段階においては、その行程が軽視されがちである。そして最終的には事業が効果的に行われない恐れがある。  先進的な事業を行うのならば、最後まで責任をもって作業を行う事ができ、トラブル発生時も対応可能な地元企業も協力して行うのが良いと思う。 | 先進的な事業を行う場合においても、県外企業だけでなく、地元の企業とも協力しながら事業を進めてまいりたいと考えております。 |